

2021 年 3 月 25 日

報道関係各位

関電不動産開発株式会社

**「自分らしい働き方」をデザインする空間誕生！
関電グループのシェアオフィス「WORKING SWITCH ELK」
好アクセスな大阪の堂島にオープン**

関電不動産開発株式会社（本社：大阪市北区、社長：勝田 達規）は、所有するザイマックス梅田新道ビルの地下2階に、多様な働き方のニーズに対応するシェアオフィスの第1号店

「WORKING SWITCH ELK（ワーキング スイッチ エルク）」を、2021 年 6 月にオープンいたしますのでお知らせいたします。

多くの企業では働き方改革による、テレワークやWEB会議を推進されており、「柔軟に働ける場所」という新たなニーズが高まっています。関西圏のインフラを支えるグループ企業として、本施設を通じて、ワーク・ライフ・バランスの推進に寄与し、社会へ貢献してまいります。

「WORKING SWITCH ELK」には選べる6つのワークエリアがあり、一人ひとりが自分に合った働き方を自由にデザインできる空間です。施設内には個室・半個室・様々なスタイルのデスク・フロンブース・会議室等があり、それぞれが最高のパフォーマンスを発揮し、新たなひらめきを生み出すために、快適で洗練された空間の提案とワーカーへの支援を目的として生まれました。

また、本施設は大阪随一のビジネス街・堂島にあり、繁華街の梅田・北新地エリア、オフィスが集積する中之島・淀屋橋エリア、官庁や法曹関連事務所が多い西天満エリアも徒歩圏内で、リアルなつながりの速さがビジネスを加速させます。

【コンセプト／施設名称】



『WORKING SWITCH』とは、働く場所を示す“WORKING”と、ON/OFFを切り替える“SWITCH”を組み合わせたもので、「自分に合った働き方を自由にデザインできる空間」というコンセプトを表現しています。

『ELK』とは、いきいきと仕事ができる「Energy」、自分らしい働き方により豊かな人生を実現する「Lifestyle」、人と人とがつながり、結ばれる「Knot」、この場所で実現できるキーワードを集約して名付けました。

【WORKING SWITCH ELK の特徴】

◇働き方で自由を選べる6つのワークエリア



「始まる」エリア

顔を合わせる大切な空間。
新たな出会いからこれからのつながりまで
ワクワクするような高揚感のある雰囲気。



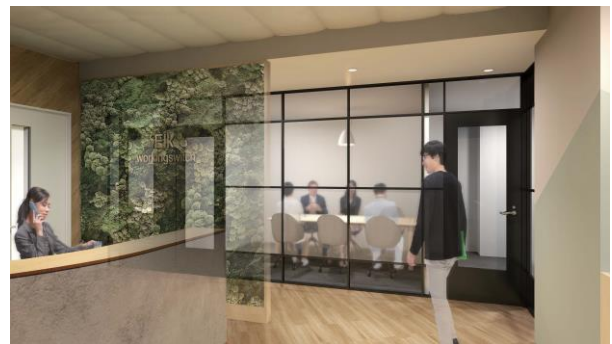
「交わる」エリア

カフェコーナー併設のリラックススペース。
様々なイベントにも利用可能な、活発なコミュニケーションが生まれる“動”のエリア。



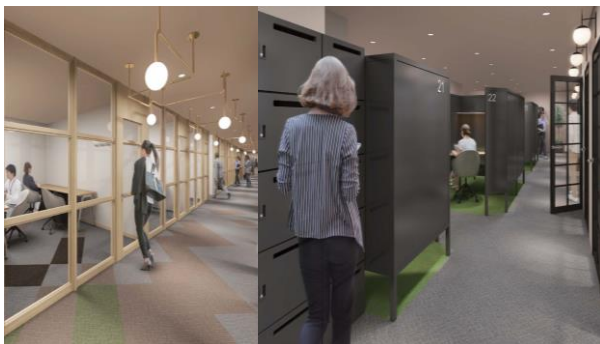
「考える」エリア

コワーキングエリアにありながら適度なパーソナルスペースを確保できる空間。
静かな雰囲気の中で、高い集中力を発揮できる
“静”のエリア。



「話す」エリア

会議室を備えることで利用者とゲストが気軽に議論が可能。



「集中する」エリア

プライベートエリア内の個室・デスク席。
落ち着いたある研ぎ澄まされたシンプルさから集中力を引き立てる空間。



「くつろぐ」エリア

プライベートエリア内にあるオープン会議室で気軽に打合せが可能。
アメニティコーナーやリフレッシュ空間も併設。

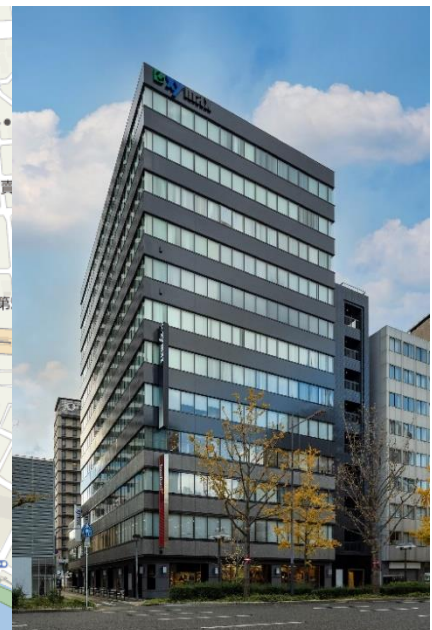
【施設概要】

所在地： 大阪市北区堂島 1-1-5 ザイマックス梅田新道ビル 地下2階
面積： 820.9 m² (248.3 坪)
プライベートエリア： 個室…28室
デスク…10席
コワーキングエリア： 計100席
会議室： 計4室
営業時間： 8時～20時（プライベートエリアは24時間利用可能）
オープン日： 2021年6月1日（予定）
ホームページ： <https://workingswitch-elk.com/>

【フロアマップ】



【アクセス】



以上